

前方不注意!

減速しないまま車列最後部に突っ込む 十勝大橋の上で車両6台関係の多重衝突、5人が重軽傷

2015/05/07 北海道警察本部 特別編集

2日午前11時50分ごろ、音更町内の国道241号で、十勝大橋の上を走行していた車両6台が関係する多重衝突事故が発生した。この事故で5人が重軽傷を負っている。事故当時は交通集中による渋滞が起きていたという。

帯広署によると、渋滞が発生していたが、後ろから進行してきた車両が減速しないまま車列最後部に突っ込み、これを発端として車両6台が関係する多重衝突に発展した。

事故に関与した6台には合計9人が乗車していたが、このうち1人が頭部強打などで重傷。4人が打撲などの軽傷を負い、近くの病院へ収容されている。

警察では前方不注意が事故につながったものとみて、追突車の運転者から自動車運転死傷行為処罰法違反(過失傷害)容疑で事情を聞くとともに、事故発生の経緯を詳しく調べている。

◆交差点事故の根絶 右左折時は・・・

- ・左右から横断する歩行者や自転車を意識して、安全確認を徹底しましょう
- ・横断歩道の手前で最徐行・一旦停止し広範囲を自分の目で視る習慣をつけましょう

歩行者・自転車・バイクの確認! 見えたら「先に行かせる」

5月は歩行者事故に注意

○50%が夜間に発生(18:00~24:00)

●右からの横断歩行者に注意

●夜間はこまめにライト切替(ハイ・ビーム、ロー・ビーム)

●交差点は特に注意

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意!

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩!

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

走行中に路線バスのタイヤ2本脱落

トンネル内で立ち往生 乗客にけがなし

◆運行前点検を確実に! ◆

2015年5月6日(水)12時14分

5日午後4時すぎ、青森県のトンネル内で、路線バスが右後部のタイヤ2本の脱落によって停車する事故があった。バスはトンネル入り口付近から脱輪したまま約200メートル走行。乗客2人にけがはなかったが、警察は現場を約5時間にわたり片側通行止めにした。脱落したタイヤが他の車両などにぶつかる被害はなかった。異変に気付いた男性運転手がブレーキをかけて停車した。バス会社によると、整備士が出発前に打音や目視でナットの緩みやタイヤの空気圧の点検をしたが、異常はなかった。このバスは「スタッドレスタイヤから交換したばかりだった」(同社担当者)という。同社によると5日時点で事故原因は不明だが、「再発防止のために日々の点検整備を強化していく」(同社運輸事業部)とコメントした。

あわや16メートル下に落下・・・

緩やかなカーブ、はみ出し、正面衝突 男性2人が骨折

2015年05月08日

7日午前5時40分、長崎県で無職の男性(36)のワゴン車と男性タクシー運転手(61)のタクシーが正面衝突した。無職男性は足を骨折し、タクシー運転手もあばら骨を折った。現場は片側1車線の緩やかなカーブ。ワゴン車が対向車線をはみ出し、タクシーと衝突したという。フェンスを突き破ったワゴン車の後輪は宙に浮いた状態で高さ16m下に危なく落下するところだった